

(別紙1)

令和4年度～令和8年度 社会福祉法人大麻福祉の町 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人大麻福祉の町	法人番号	5480005003549					
法人代表者氏名	理事長 福島明弘							
法人の主たる所在地	徳島県鳴門市大麻町板東字広塚43番地							
連絡先	088-689-1381							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	—							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和4年5月19日							
評議員会の承認年月日	令和4年6月17日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (令和3年度現在)	1か年度目 (令和4年度末現在)	2か年度目 (令和5年度末現在)	3か年度目 (令和6年度末現在)	4か年度目 (令和7年度末現在)	5か年度目 (令和8年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	36,010 千円	35,510 千円	27,590 千円	19,570 千円	11,470 千円	3,310 千円		3,310 千円
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		▲500 千円	▲7,920 千円	▲8,020 千円	▲8,100 千円	▲8,160 千円	▲32,700 千円	
本計画の対象期間	令和4年8月1日～令和9年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	職員新規雇用・定着事業	社会福祉事業	既存	サービス充実の為、職員を募集する	無	0
	人材育成事業	社会福祉事業	既存	研修会等の参加費を助成	無	500千円
小計						500千円
2か年度目	職員新規雇用・定着事業	社会福祉事業	既存	サービス充実の為、職員2名を採用	無	7,420千円
	人材育成事業	社会福祉事業	既存	研修会等の参加費を助成	無	500千円

	小計					7,920 千円
3か年度目	職員新規雇用・定着事業	社会福祉事業	既存	職員2名継続雇用	無	7,520 千円
	人材育成事業	社会福祉事業	既存	研修会等の参加費を助成	無	500 千円
	小計					8,020 千円
4か年度目	職員新規雇用・定着事業	社会福祉事業	既存	職員2名継続雇用	無	7,600 千円
	人材育成事業	社会福祉事業	既存	研修会等の参加費を助成	無	500 千円
	小計					8,100 千円
5か年度目	職員新規雇用・定着事業	社会福祉事業	既存	職員2名継続雇用	無	7,660 千円
	人材育成事業	社会福祉事業	既存	研修会等の参加費を助成	無	500 千円
	小計					8,160 千円
合計						32,700 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

### 3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	年々高齢化、重度化する利用者へ十分に対応できるよう、職員を増員し、サービスの質の向上を行う。また、多種多様な個性や特性を持つ利用者へ支援する職員の資質向上の為、積極的な研修会参加を行う。
② 地域公益事業	①の取り組みを行う為、実施しない
③ ①及び②以外の公益事業	①の取り組みを行う為、実施しない

### 4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
職員新規雇用・定着	計画の実施期間における事業費合計	0	7,420 千円	7,520 千円	7,600 千円	7,660 千円	30,200 千円

事業	財源構成	社会福祉充実 残額	0	7,420 千円	7,520 千円	7,600 千円	7,660 千円	30,200 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
人材育成 事業	計画の実施期間に おける事業費合計	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	2,500 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	500 千円	2,500 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

## 5. 事業の詳細

事業名	職員新規雇用・定着事業	
主な対象者	当法人に新たに雇用される職員	
想定される対象者数	2名	
事業の実施地域	鳴門市	
事業の実施時期	令和4年8月1日～令和9年3月31日	
事業内容	利用者の高齢化、重度化に伴い怪我や病気のリスクが年々増加している。職員を増員し、利用者一人一人と接する時間を増やすことで見守りとサービスの質の向上を図りつつ、職員1人当たりの業務負担を軽減することによる職員処遇の改善を行う。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	職員の募集
	2か年度目	職員2名採用
	3か年度目	職員2名継続雇用

	4か年度目	職員2名継続雇用
	5か年度目	職員2名継続雇用
事業費積算 (概算)	人件費 2か年度目	371万円×2名分＝ 742万円
	人件費 3か年度目	376万円×2名分＝ 752万円
	人件費 4か年度目	380万円×2名分＝ 760万円
	人件費 5か年度目	383万円×2名分＝ 766万円
	合計	30,200千円 (うち社会福祉充実残額充当額 30,200千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	人材育成事業	
主な対象者	法人内職員	
想定される対象者数	60名	
事業の実施地域	鳴門市	
事業の実施時期	令和4年8月1日～令和9年3月31日	
事業内容	多種多様な個性や特性を持たれる利用者へ支援する職員は幅広い知識とスキルが求められる。特に強度行動障害を有する利用者への支援は専門的な研修を受け、資質向上する事が必要不可欠である。その為、様々な研修会等への受講費用を助成し、積極的に参加を促すことで職員全体のスキルアップを図る。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	研修会等の参加費を助成
	2か年度目	研修会等の参加費を助成
	3か年度目	研修会等の参加費を助成
	4か年度目	研修会等の参加費を助成
	5か年度目	研修会等の参加費を助成

事業費積算 (概算)	50万円×5年=250万円	
	合計	2,500千円(うち社会福祉充実残額充当額2,500千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

※本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

## 6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

当法人の草の実学園では将来の建物建て替えに備えて毎年資金の積み立てを行っている。予想される建替費用は10億円を超えと思われる。大きな施設整備の補助金が見込めない現状では費用全額を自己資金で対応する必要があるが、10億円まで積み立てるのに要する年数は15年以上となる。

それまでの期間、社会福祉充実残額の全額を社会福祉充実計画に投じ、多くの利用者が生活する建物の建て替えを行う時期が延期してしまうのはハード面の著しい劣化によるサービスの低下を招きかねず、合理的ではない為、社会福祉充実残額の全額は活用しない。